

ITOM SecOps

ServiceNow®

IT資産・脆弱性管理ソリューション

- IT資産の構成および脆弱性情報の収集から実施管理までを、自動化・可視化することで、IT資産管理と脆弱性管理プロセスを効率化
- 構成管理データベース (CMDB) で脆弱性対応状況の一元管理が可能となり、システム担当者の業務負担を軽減



Problem / こんなお困りごとありませんか？

Problem

☑ IT資産管理をエクセルなどで管理しているため、最新情報の把握が困難

☑ 管理対象が多いため脆弱性対応が追いつかず、情報漏洩やウイルス感染など重大な被害の懸念がある

☑ 情報がサイロ化されており、システムや社内全体のセキュリティ対策状況を把握できていない

☑ インシデントの認識から対処までの時間がかかっており、情報漏洩などのリスクが高い

その課題、IT資産・脆弱性管理ソリューションで解決！

Solution / 検出・検査・対応を自動で実現



ディスカバリ機能によりIT資産情報を自動的に検出・収集し、構成管理データベースにより、システムや社内全体のセキュリティ対策状況も含めて一元管理

脆弱性情報を自動収集し、優先順位付けと脆弱性対応を実施

イベント管理機能と連携した評価により、迅速なセキュリティインシデント対応を実施

「統合ITサービスソリューション」と連携させることで、脆弱性情報の自動収集からITサービス管理とセキュリティ運用管理までを統合した一元的な運用が可能



デバイス等に存在するインシデントや脆弱性の可視化



対応の優先順位付けを実施



ワークフローによる自動化された処理



修復の実施

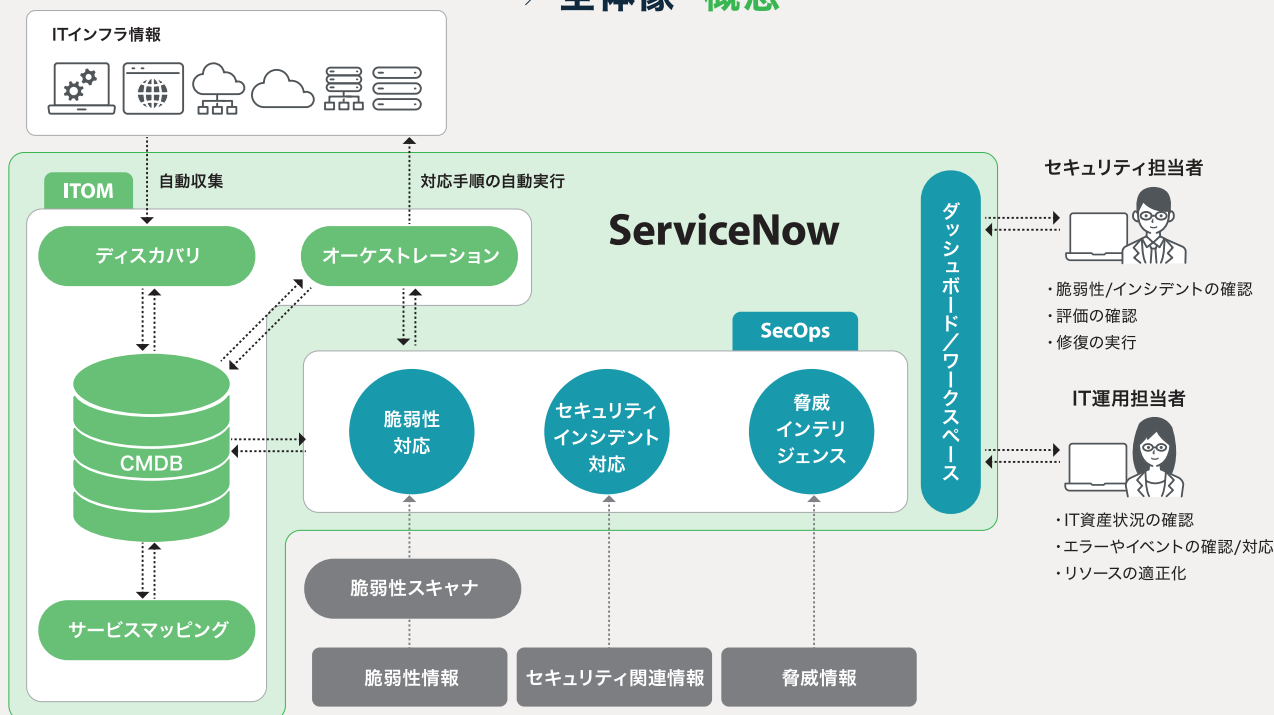


ダッシュボードによる可視化

ServiceNow IT資産・脆弱性管理ソリューション

ITインフラ情報はITOMで、脆弱性スキャナをはじめとした各種セキュリティシステムの情報はSecOpsで収集し、CMDBで一元管理します。
これにより、社内のIT環境の可視化、迅速なインシデント対応、担当者の業務効率化を実現します。

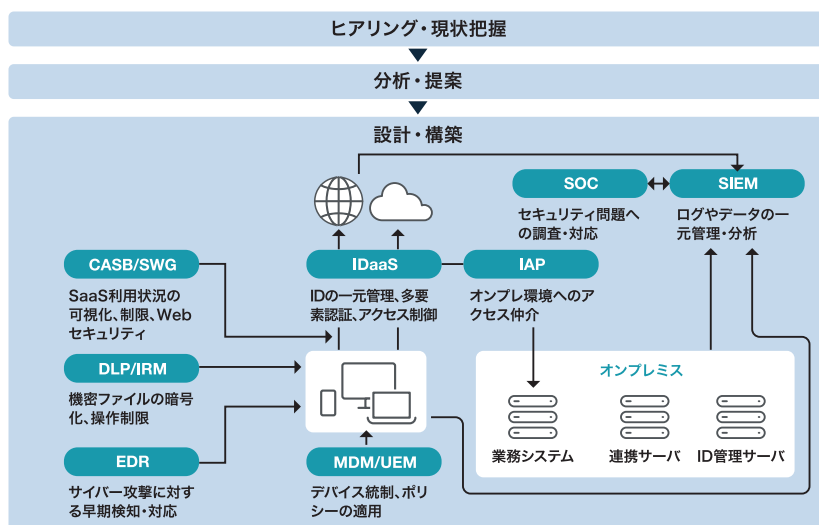
Outline 全体像・概念



SecOpsを通して処理を自動化し必要なアクションを実行します。また、公開されている脆弱性情報やエクスプロイトコードの情報、各社から提供されているソリューション情報もCMDBに収集することで、総合的かつ複合的な評価ができるようになります。

連携製品の詳細については別途ご相談ください。

DTSのゼロトラストソリューション



+ ServiceNow

DTSはゼロトラストソリューションの導入を行っており、セキュリティ要件の厳しい金融機関などでも実績を持ちます。

クラウドサービスの増加やリモートワークの普及に伴いゼロトラストの必要性が高まる中、その運用においてもServiceNowとの連携は非常に有効です。

増大するセキュリティリスクに対して、各事象を確実にチケット化する事で抜け・漏れを防ぎます。また、複合的評価による対応の優先順位付けに加え、初期アクションまでを自動化する事で各事象の認識から対応までの初動時間を短縮します。これにより、セキュリティ対策の強靭化と作業担当者の業務負担軽減が期待できます。

DTSでは、ゼロトラスト環境のコンサルティング・構築から、ServiceNowを活用した運用まで、お客様のデジタルビジネスを脅威から守る環境づくりをサポートします。

連絡先

業務改革DXソリューション
<https://dts-digital.jp/servicenow/>



株式会社 DTS

デジタルソリューション事業本部
デジタルソリューション営業部
TEL 03-6914-5562
E-mail digital_sales@dts.co.jp

※ServiceNow、ServiceNowのロゴ、Now、その他のServiceNowマークは、米国および/またはその他の国におけるServiceNow, Inc.の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、関連する各会社の商標である場合があります。
※製品の仕様は予告なく変更する場合があります。